

二本松青年海外協力隊訓練所

# ADATARA

あ だ た ら



特集 まるわかり!

Contents

## 二本松青年海外協力隊訓練所

P3 イベントレポート・VOICE

P4 現地レポート「From ブータン」

# まるわかり! 二本松 青年海外協力隊訓練所

訓練所の一日 紹介してくれるのはこの方!



JICAボランティアの試験に合格すると、現地に派遣される前に派遣前訓練に参加します。この訓練を行う訓練所のひとつが、JICA二本松青年海外協力隊訓練所です(もう一か所は長野県駒ヶ根市にあります)。ここで、青年海外協力隊は70日間、シニア海外ボランティアは35日間の訓練を合宿形式で行います。訓練では語学をはじめ、現地での活動に必要な知識(健康・安全管理など)や技能(サバイバル技法、異文化適応など)を学びます。実際に、どのような訓練が行われているのか、今回は訓練所の日をご紹介します!

平成25年度2次隊 候補者  
はぎわら つばさ  
**萩原 翔準さん**  
●出身地:北海道(札幌市)  
●訓練への意気込み  
無事に皆で訓練終了する!  
●派遣国:エチオピア  
●職種:環境教育  
●ひとこと  
スープカレーが食べたい。

## 6:30 朝のつどい

毎朝、全員で揃って国旗掲揚をします。掲揚する国旗は、訓練中の候補者が派遣される国の国旗が日替わりで掲揚され、その国の国歌も流れます。その後、一日の連絡事項を確認し、全員でラジオ体操を行います。朝のつどいが終わると、ジョギングを行い、体力の向上・維持に努めます。

朝はここから始まります。



候補者全員でラジオ体操。気合いを入れます!

## 7:10 朝食

## 8:45 語学訓練

午前中は3時間の語学訓練です。英語クラスは、基本的な日常会話や表現を学ぶホームクラスでの訓練です。語学レベルでクラス分けをし、少人数制で集中的に学びます。

二本松訓練所で学習する言語は、英語、フランス語、中国語、マレー語、タイ語、クメール語、ベトナム語、ラオ語、インドネシア語、アラビア語、モンゴル語、スワヒリ語などです。

皆で楽しく勉強しています。



先生への質問も候補者との会話もすべて学習言語で行います。

## 11:40 昼食

訓練所では、一日三食バランスのとれた食事を提供しています。しっかりと食事をとり健康な体を作ることも大切な訓練のひとつです。メニューは日替わりで、任国の料理を味わうエスニックランチの日もあります。

ごはんがおいしくて、最近太ったかもしれません。



エスニックランチの一例(インドネシアのナシゴレン)

## 13:00 語学訓練

任国での活動をイメージしながら勉強しています。



環境をテーマにディスカッション中の萩原さん

午後の2時間は語学訓練です。訓練所にいる70日間で、中学校の英語学習で約2年分の授業を行います。午後の英語クラスでは、テクニカルクラスと言って、現地での活動の際に必要な専門的な表現を訓練し、模擬授業やプレゼンテーションなどを行います。

## 15:00 各種講座

語学の授業を終えると、任国での活動で必要となる知識を身に付ける各種講座が行われます。例えば、日本と違う環境で生活する上で必要な安全対策や健康管理、救急法などを学びます。また、ボランティアとしての心構えを身に付けるため、任国研究や世界の宗教理解の講座などもあります。

皆との意見交換で、自分の視野が広がっていくのを感じています。



講座「ボランティアスピリット意見交換会」にて。どうしてボランティアに参加したのか、自分たちの役割は何かを考えます。

## 18:00 夕食

## 19:00 語学自習・自主企画講座など

### 自主企画講座

与えられた授業・講座だけではなく、ときには自分たちが学びたいこと、または伝えたいことを自主企画講座として候補者自身が企画し、講座を開くこともあります。

萩原さんによる環境教育ワークショップの様子。「任国でも作成できる虫除けを作ろう!」ということで、柑橘類とハーブで虫除けを作成しました(今回はレモンとクローブを使用)。そのほか、蚊が媒介するデング熱について萩原さんが講義を行いました。



定員オーバーになる程、参加してもらいました。

宿題の他に、任国の研究もしています。



居室で自習。1人1部屋与えられます。

## 23:00 消灯

## こんな訓練も行っています!

### 委員会活動

スタッフだけではなく、候補者も訓練の運営に携わります。委員会活動はその一つで、講座を運営する講座委員会、図書資料を管理する図書委員会など様々です。今回は、お隣り本宮市のFMモットコムで自主制作番組を放送しているラジオ委員会の活動を紹介します。

プロのディレクターから基本を学びながら番組制作しています。



ラジオ委員会 委員長  
あおの ともか  
**青野 友香さん**  
●平成25年度2次隊 候補者  
●派遣国:フィリピン  
●職種:観光



(写真 右から2番目が青野さん)

みんなで一つのものを作り上げるこの活動はとても楽しいです。それぞれが宿題や授業がある中での番組制作は大変ですが、「どうしたら人に伝わるのか」「楽しい雰囲気を出すにはどうしたらいいのか」日々考えています。私は職種が観光なので、訓練所でのこの経験は、派遣されてから、自分が広報活動を行うときに活かせると思っています。

FM. Mot.com  
「世界も、自分も、変えるラジオ」  
毎週木曜日 / 13:00~13:30  
※詳細は裏表紙をご覧ください!

## スポーツ大会

全員参加のスポーツ大会では、同じ志を持つ者同士、協調性・団結力を高めます。萩原さん(写真左側)も体育委員長として大活躍!



## 座禅

心を落ち着かせ、訓練への取り組みと任国へ赴任するにあたって、改めて自分をみつめ直す時間です。



## 野外訓練

任国では水や電気がない、不足していることもしばしば。限られたモノを使いながら、工夫して生活する知識を身につけます。



## 一般のみなさんのご来所、お待ちしております!

二本松青年海外協力隊訓練所は、JICAボランティア候補者のための施設であることはもちろんですが、広く一般の皆様にもご利用いただけます。訓練所内の見学はもちろん、世界の民族衣装の試着コーナーや、世界の現状について学習するスペースを設けた「広報展示室」もあり、どなたでもご利用いただけます。訓練中にはJICAボランティア候補者と一緒「公開講座」を受講することもできます。また、宿泊での利用や訓練所の食堂の利用も可能です。まずはお気軽にお問い合わせください!

## 訪問学習

青年海外協力隊体験談、国際理解ワークショップ、訓練所内見学などを行います。



## 広報展示室

世界各国の民芸品や資料の見学や、民族衣装を試着などを通して異文化を体感。



### 公開講座

- 例えば...
- 国際関係と日本の国際協力
  - 体力維持講座
  - 異文化適応概論
  - 地球のステージ など

※公開講座の最新情報はホームページにてご案内しております。

すべてのお問い合わせはこちらへ  
JICA二本松  
☎0243-24-3200

# EVENT REPORT

## 平成24年度教師海外研修 セネガル派遣 報告会

イベント  
レポート1



セネガルの民族衣装の紹介

昨年年末に教師海外研修でセネガルへ渡航した県内8名の先生方の実践報告会が、6月22日(土)にコラッセふくしまで行われました。

例えば、セネガルの挨拶の意味を考えるを通し、日本での挨拶を大切にしてもらいたいと伝えた授業や、セネガルでは、学校に行きたくても行けない状況にある若者がいることを踏まえ、少しでも自分の置かれた環境について考えてほしいというような授業を紹介しました。

会場では、セネガルのお茶のふるまいや民族衣装の試着、お土産品の展示なども行われ、参加者はセネガルの文化体験も楽しんだようでした。

また、平成25年度教師海外研修は、8月1日～10日の日程で、8名の先生方がフィリピンでJICAの活動などを視察しました。この様子については、次号で詳しくお伝えします。

## クローズアップAfrica —アフリカ開発会議×福島大学—

イベント  
レポート2



TICADVの参加報告をする学生

7月3日(水)に福島大学にて、「クローズアップAfrica—アフリカ開発会議×福島大学—」が開催されました。

これは、福島大学経済経営学類の佐野ゼミナールと、福島市に拠点を置くNPO法人ルワンダの教育を考える会、JICA二本松の主催による、学生向けのイベントです。

6月1日から3日間かけて開催されたTICADV(第5回アフリカ開発会議)のサイドイベントに参加した5名の学生を中心に、「アフリカの今」を知ってほしいという思いのもと、児童労働やフェアトレードをテーマとした映画「バレンタイン—揆」の上映会や、学生によるTICADV(視察の報告会、カンベンガ・マリールイズ氏(NPO法人ルワンダの教育を考える会)の講演が行われました。

学生たちが自分たちの言葉で伝えるアフリカの現状を聞き、参加した学生も大変刺激を受けたようでした。

# VOICE



なごみ  
NPO法人 和(二本松市)  
施設長  
みづら ちかこ  
三浦智香子

このコーナーでは日頃よりJICA二本松を応援してくださっている県内の皆様にインタビューし、JICAボランティアとのエピソードや期待・エールをうかがっていきます。  
第2回目は、候補者の「所外活動」の活動先、NPO法人 和(なごみ)の施設長、三浦智香子さんにお話をうかがいます。

### 一和はどのような施設ですか?

障害がある方の作業所です。現在は18歳から63歳の方38名が作業をしています。和では、こんにやくと豆腐の製造・販売をし、障害のある方が「働くことができるようになる」ための支援を行っています。それぞれのできることをしてもらおうと、ステップアップしていく方もいますよ。

一所外活動では、二本松訓練所の候補者も作業のお手伝いをさせていただいていますが、主にどのような作業をしていますか?

時期にもよりますが、最近だと、利用者と一緒に施設の草むしりや、箱折りをしてもらいます。

一三浦さんから見た、JICAボランティア候補者の印象はいかがですか?

どんな場面でも、どんな人たちともすぐ溶け込んでいるように思います。気負わず、利用者の方々とも積極的に話してくれず、逆に、利用者の方が候補者のみなさんにごく親しみをもって話しかけている様子も見かけますよ。

一JICA二本松とは「ひまわり里親プロジェクト」でもつながりがありますが、きっかけを教えてください。

元々はNPO法人チームふくしまの半田さんという方が、震災をきっかけに仲間と考えたプロジェクトです。和では、全国各地に配布するひまわりの種の袋詰め作業を請け負っていたのですが、せっかく二本松で袋詰めを行っているのだから、二本松市内各地でもきれいなひまわりが咲くところが見たい!という思いで市長さんや各学校、そして二本松訓練所にも種をお持ちしました。

※全国の里親が育てたひまわりから採れた種をひまわり油にして福島復興のために活用する、福島と全国の絆づくり、風化対策、雇用対策、観光対策、農地再生など様々な思いを込めたプロジェクト。

一なんと、三浦さんご自身も日系シニア海外ボランティアとしてポリビアで活動された経験があるとか?

福祉という職種で派遣され、サンファン移住地というところでデイサービスの立ち上げに携わりました。ボランティアも今の仕事でも、「私なんかで役に立てるのであれば」、「私が何かすることで喜んでもらえるなら」という思いで頑張っています。

一そんなJICAボランティアの経験を持つ三浦さんから、候補者、JICAボランティアの皆さんにメッセージをお願いします!

自分の思っているようにはいきません。障害を持っている方でも、健常者の方でも、人はそれぞれ違います、自分を客観的な立場で見ることが大切だと思います。人生の中で2年間は本当に短い期間ですが、ぜひ楽しんでください!



施設内には「ひまわり里親プロジェクト」で育てられたひまわりがたくさん!

ひまわりの様に明るく元気いっぱいの三浦さん。三浦さんを中心に利用者の方、スタッフの方にも笑顔が広がっていました。ありがとうございました!

JICA ボランティア

# 現地レポート from Bhutan

福島県出身



フータン



いとう みずほ  
**伊東 瑞歩**さん

平成24年度1次隊

出身地：郡山市出身

派遣国：フータン

職種：栄養士



フータンは、インドと中国の子ベット自治区の間、ヒマラヤ山脈の東部にある王国です。私はティンプー（首都）の国立病院（JDWNR病院）へ栄養士として派遣されています。

病院での活動内容は主に3つです。

①外来・入院患者への栄養教育→フータンには、糖尿病や高血圧の患者さんが多いです。“糖尿病の日”を設けていて、身体計測や血圧測定も行います。病棟では子供から大人までを対象に、必要栄養量を算

出し、栄養教育を行っています。

②病院給食業務→3種類（流動食・治療食・通常食）の食事を提供していますが、家からの手作り料理を食べる患者も多いのが、フータンの特徴です。

③地域住民に対する栄養情報普及→健康イベントに参加したり、学校の職員と協力して、出張栄養教育を行ったりしています。同僚も、普段とは違う対象者との交流を楽しんでいるようです。

病院以外では、人との交流に力を入れています。現地では、日本人との出会いもあります。ボランティアのみならず、専門家や事務所職員など、年齢や職種も多様です。歓迎迎会や新年会、スポーツ大会などを通じ、交流を深めています。また、フータン人とは、よく誕生会や食事会を通じて交流しています。家に招待したり、招待されたりする機会が多く、日本料理とフータン料理を一緒に作り、文化交流をします。ちなみに、フータン料理には唐辛子・塩・油が多く使われます。

フータンは「幸せの国」と呼ばれています。それでも、それぞれ悩みや不満がある様子も見受けられます。また、文化や環境も少しずつ変わってきているのも事実です。ただ、私はフータンの景色や人の温かさが好きです。私なりの幸せを感じながら、残りの期間も貴重な時間を過ごしたいです。



福島に  
ゆかりのある

# JICA ボランティア

平成25年度2次隊 (2013年9月下旬出発)

①出身地 ②派遣予定国 ③職種



青年海外協力隊  
あいざわ ゆきひろ  
**相澤 幸裕**さん  
①宮城県(福島大学出身)  
②セネガル  
③コミュニケーション開発

憧れの協力隊、そしてアフリカの地への赴任。私は、水利組合の運営管理や啓蒙活動の促進を目的とした「水の防衛隊」として派遣されます。安心・安全な水が現地の人にとって身近なものとなるように活動を行っていきたくと思います。



青年海外協力隊  
いしい ともや  
**石井 智也**さん  
①千葉県(祖父が福島在住)  
②ケニア  
③障害児・者支援

東日本大震災以降、福島に住む祖父母や友人のことが気になり、福島に足を運ぶ機会が一挙に増えました。この度は二本松訓練所で勉強する機会をいただきましたので、福島の歴史・自然・文化、そして、復興への軌跡に大きく学び、任国であるケニアでの活動の在り方を見据えていきたいと考えております。



青年海外協力隊  
うえだ ひろひと  
**上田 宗侍**さん  
①須賀川市  
②ガーナ  
③自動車整備

初めて協力隊の存在を知ったのは二本松訓練所に関するニュースを中学生の時に見た時です。その時は自分もこの二本松訓練所で訓練を受けるとは考えも付かなかったと思います。しかし、縁あって協力隊に参加し、あの頃テレビの中で見た二本松訓練所に自分もいることを感謝しながら今後の活動を頑張っていきたいと思っています。



青年海外協力隊  
さばら ゆうた  
**佐原 悠太**さん  
①福島市  
②サモア  
③サッカー

自分の好きなことのキーワードとして、サッカー、子ども、海外がありました。それらが実現できる場所として協力隊は以前からの目標でした。この環境に感謝を忘れず、任国の人々と共に様々な事に挑戦し、成長していきたいと思っています。



青年海外協力隊  
たかはし かずま  
**高橋 一真**さん  
①北海道(3月まで会津若松ザベリオ学園中学高等学校(勤務))  
②カンボジア  
③理科教育

教員をやっていました。これから数十年先のことを考えたとき、漠然と海外に行きたいと思いました。さまざまな方からの支えもあり、こうして二本松で訓練を受けることが出来ています。自分の見識を深め国と国、世代間を繋ぐ人間になっていきたいです。



青年海外協力隊  
たぐち ももこ  
**田口 桃子**さん  
①いわき市  
②ラオス  
③環境教育

中学生の頃に学校で青年海外協力隊OVの方の話を聞いてから、いつか私も...!とっていました。憧れの協力隊候補生となる事が出来て本当に嬉しいです。福島の土地で育てられた大らかな性格で、ラオスへ行ってものびのびと頑張ります!



青年海外協力隊  
ののみや  
**二宮 みどり**さん  
①会津若松市  
②ジャマイカ  
③手工芸

私は手工芸でジャマイカに派遣予定です。任国の人々とどんな制作ができるのかとても楽しみです。なかなか訓練には慣れませんが頑張ります。

## 福島県出身 ボランティア

2013年7月31日現在 合計派遣中33名/累計648名

青年海外協力隊		日系社会青年ボランティア	
派遣中	30	累計	588
派遣中	0	累計	9
シニア海外ボランティア		日系社会シニアボランティア	
派遣中	3	累計	46
派遣中	0	累計	5



## 着任の お知らせ

JICA二本松 業務課  
のみよし  
**三義 望**

初めまして。「金沢生まれの初二本松」「協力隊経験なし」「NTCIには候補者がいないラテンアメリカ族」とないない尽くし。「三無し」の三義(ミヨシ)です。が!実はボランティア事業は詳しいですよ。転勤を機に「八重の桜」も見始めたビギナーですが、二本松、福島を一杯知りたいたいです。微力ながら震災復興も応援します!どうぞよろしくお願い致します。

JICA二本松  
青年海外協力隊訓練所  
公式Facebookページ  
開設!

## 平成25年度 JICAボランティア 秋募集

平成25年度JICAボランティア秋募集が10月1日より開始となります。県内でも下記会場にて、募集説明会を開催します。また特別イベントでは、音楽あり、ラジオの公開録音あり、試験対策講座ありと盛りだくさんの内容で皆さんのご来場をお待ちしております!

**募集説明会**  
9月25日(水) 18:30~20:30  
会場:ビッグアイ(郡山市)  
10月16日(水) 18:30~20:30  
会場:アクティブシニアセンター  
A・O・Z(福島市)

### 特別イベント

ふくしまFM「キミノチカラ、海を越えて~青年海外協力隊の道~」  
**トークビューイング(公開収録)開催**  
10月6日(日) 14:00~17:00 会場:郡山女子大学(郡山市)  
毎週土曜の朝にお届けしているこの番組ですが、今回はスタジオを飛び出してみなさんと一緒に収録を行います。  
いわき市出身でフィリピンで活動された草野恵美隊員、そして、ロックバンド「アンダーグラフ」のボーカル・真戸原直人さんをゲストにお迎えします!国際協力ってなんだろ?自分にはなにができるの?そんなみなさんの背中を押すようなイベントです。  
**「合格への道!!」カズンライブ&トーク**  
10月27日(日) 12:00~17:00 会場:JICA二本松(二本松市)  
受験をお考えの方向けの試験対策のコツを北野所長が直々に伝授!語学や健康に不安を持つ方向けにも専門のスタッフがアドバイスします。当日は、アフリカ・ウガンダで協力隊員と現地の人と共に曲づくりを行った歌手のカズンをゲストにお迎え、トーク&ライブをお楽しみいただけます。

## 9月~11月 イベントカレンダー

- 9月 13日(水) エッセイコンテスト締切
- 9月 17日(日) 平成25年度2次隊 修了式
- 9月 28日(木)・29日(金) ユース国際協力ミーティング2013
- 10月 10日(日) 平成25年度3次隊 入所式

## ラジオ番組の ご案内

●FM Mot.Com  
「世界も、自分も、  
変えるラジオ」  
毎週木曜 13:00~13:30

4月4日から始まった新レギュラー番組「世界も、自分も、変えるラジオ」は二本松訓練所で訓練中の候補者らが独自に制作する番組。協力隊が活動する開発途上国の話題や日本全国各地から集まった訓練候補者たちの熱い思いや将来の夢、そして訓練所内での生活の様子を市民にお伝えする内容となっています。

●ふくしまFM 番組ブログ、Facebookも  
随時更新中☆  
「キミノチカラ、海を越えて  
~青年海外協力隊の道~」  
毎週土曜 8:30~8:55

JICAボランティアとして世界各地で活躍された県内在住の方々をゲストに迎え、参加の動機や派遣国での様子、ボランティア経験を帰国後どのように活かしているのかなど、現地の音楽を交えながらお送りします。



独立行政法人国際協力機構  
**二本松青年海外協力隊訓練所**  
〒964-8558 福島県二本松市永田字長坂4-2  
Tel: 0243-24-3200 Fax: 0243-24-3214  
●本誌に関するお問い合わせ  
JICA福島デスク 担当: 八巻(やまき) Tel: 024-524-1315 Fax: 024-524-8308  
〒960-8103 福島市丹町2-1 (公財)福島県国際交流協会内